

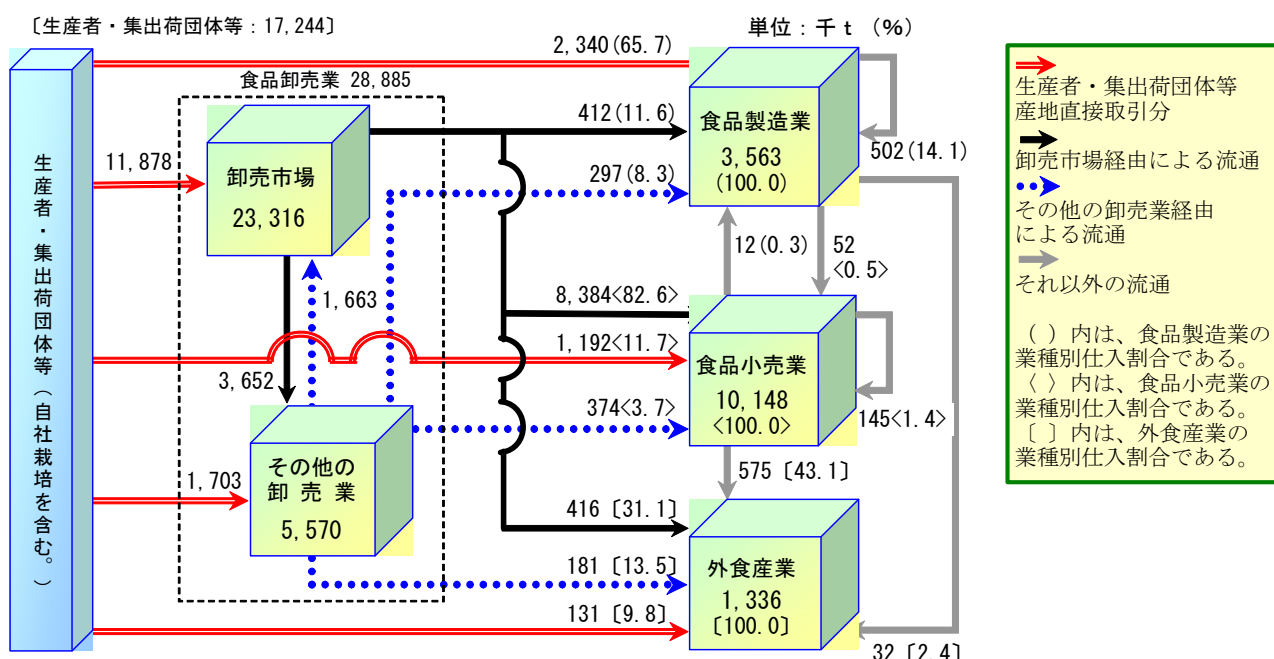
I 調査結果の概要

1 青果物の流通経路別仕入状況

(1) 国内産青果物の仕入状況

平成17年度の国内産青果物の仕入割合をみると、食品製造業は生産者・集出荷団体等（自社栽培を含む。（以下15ページまで同じ。））からの仕入れが65.7%、食品小売業は卸売市場からの仕入れが82.6%とそれぞれ最も高くなっている。また、外食産業は食品小売業からの仕入れが43.1%で最も高く、次いで卸売市場からの仕入れが31.1%となっている。なお、平成15年（前回調査時）と比べて、各業種とも卸売市場からの仕入割合がわずかながら減少している。

図1 国内産青果物の主な流通経路別仕入量



- 注：1 内の数値は、卸売市場、その他の卸売業、食品製造業、食品小売業及び外食産業における同業種間の流通を含む延べ仕入量であり、自社栽培したものを含む。また、括弧内は仕入量（延べ仕入量）に対する割合である。
- 2 卸売市場の数値は、卸売市場内の卸売業者及び仲卸業者が仕入れた延べ仕入量である。
- 3 業種別の仕入先・規模を調査・推定したものであること及び食品卸売業には、製造（加工）を行う事業所、消費者へ直接販売する事業所等が含まれていることから、食品卸売業の仕入量と他の業種が食品卸売業から仕入れた量の合計とは一致しない。
- 4 この結果には直接消費者へ流通するもの等は含んでいない。

表1 国内産青果物の仕入先別仕入量割合

業種	計	仕入先の内訳				
		生産者・集出荷団体等	卸売市場	商社及びその他の卸売業	食品製造業	食品小売業
食品製造業						
18年	100.0	65.7	11.6	8.3	14.1	0.3
15年	100.0	67.5	14.6	6.8	10.1	0.9
対差	-	△ 1.8	△ 3.0	1.5	4.0	△ 0.6
食品小売業						
18年	100.0	11.7	82.6	3.7	0.5	1.4
15年	100.0	11.4	83.5	3.1	0.1	1.9
対差	-	0.3	△ 0.9	0.6	0.4	△ 0.5
外食産業						
18年	100.0	9.8	31.1	13.5	2.4	43.1
15年	100.0	5.3	31.6	8.2	2.6	52.3
対差	-	4.5	△ 0.5	5.3	△ 0.2	△ 9.2

(2) 輸入青果物の仕入状況

輸入青果物の仕入割合をみると、食品製造業は商社からの仕入れが76.5%、食品小売業及び外食産業は卸売市場からの仕入れがそれぞれ62.2%、35.6%と最も高くなっている。なお、平成15年（前回調査時）と比べて、各業種とも卸売市場からの仕入割合が減少し、市場外の卸売業者（商社、その他の卸売業）からの仕入れが増加している。

表2 輸入青果物の仕入先別仕入量割合

単位：%

業種	計	仕入先の内訳					
		自社直接輸入	卸売市場	商社	その他の卸売業	食品製造業	食品小売業
食品製造業							
18年	100.0	1.8	4.6	76.5	3.0	14.0	0.0
15年	100.0	3.3	4.9	69.5	3.5	17.0	1.8
対差	-	△ 1.5	△ 0.3	7.0	△ 0.5	△ 3.0	△ 1.8
食品小売業							
18年	100.0	3.7	62.2	30.3	3.1	0.4	0.2
15年	100.0	1.7	68.3	23.8	5.1	0.1	1.1
対差	-	2.0	△ 6.1	6.5	△ 2.0	0.3	△ 0.9
外食産業							
18年	100.0	1.0	35.6	6.7	17.6	8.0	31.1
15年	100.0	1.5	40.3	6.1	14.4	7.2	30.5
対差	-	△ 0.5	△ 4.7	0.6	3.2	0.8	0.6

(3) 食品産業における青果物の仕入量

国内産の仕入量を業種別にみると、15年に比べ食品製造業、食品小売業ともにそれぞれ3.5%、3.3%減少しているが、外食産業については0.6%増加した。

一方、輸入品の仕入量を業種別にみると、食品製造業で13.6%、食品小売業で12.9%、外食産業で31.1%それぞれ増加している。

表3 食品産業における青果物の仕入量

単位：千t、%

業種	平成18年		平成15年		対比	
	国産	輸入	国産	輸入	国産	輸入
食品製造業	3 563	309	3 692	272	96.5	113.6
食品小売業	10 148	1 620	10 499	1 435	96.7	112.9
外食産業	1 336	80	1 328	61	100.6	131.1

注：仕入量は、同業種間の流通を含む延べ仕入量であり、自社栽培したものを含む。

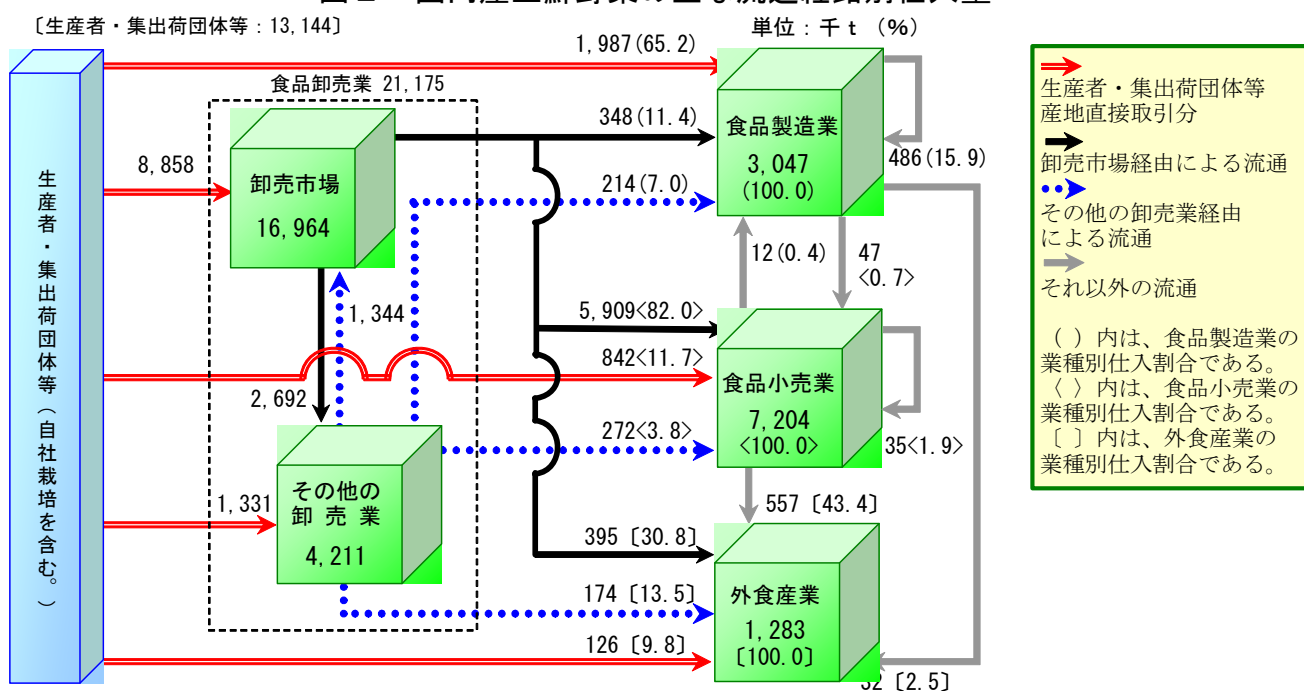
2 国内産生鮮野菜・果実の仕入状況

(1) 国内産生鮮野菜の仕入状況

食品産業における国内産生鮮野菜の仕入量（延べ仕入量、以下同じ。）は、食品卸売業（卸売市場及びその他の卸売業）が2,117万5千t、食品製造業が304万7千t、食品小売業が720万4千t、外食産業が128万3千tであった。

仕入先別仕入量割合をみると、食品製造業では生産者・集出荷団体等からの仕入割合が65.2%と最も高くなっており、食品小売業では卸売市場からの仕入れが82.0%、外食産業では食品小売業からの仕入れが43.4%とそれぞれ最も高くなっている。

図2 国内産生鮮野菜の主な流通経路別仕入量



- 注：1 ■内の数値は、卸売市場、その他の卸売業、食品製造業、食品小売業及び外食産業における同業種間の流通を含む延べ仕入量であり、自社栽培したものを含む。また、括弧内は仕入量（延べ仕入量）に対する割合である。
- 2 卸売市場の数値は、卸売市場内の卸売業者及び仲卸業者が仕入れた延べ仕入量である。
- 3 業種別の仕入先・規模を調査・推定したものであること及び食品卸売業には、製造（加工）を行う事業所、消費者へ直接販売する事業所等が含まれていることから、食品卸売業の仕入量と他の業種が食品卸売業から仕入れた量の合計とは一致しない。
- 4 この結果には直接消費者へ流通するもの等は含んでいない。

(2) 国内産生鮮果実の仕入状況

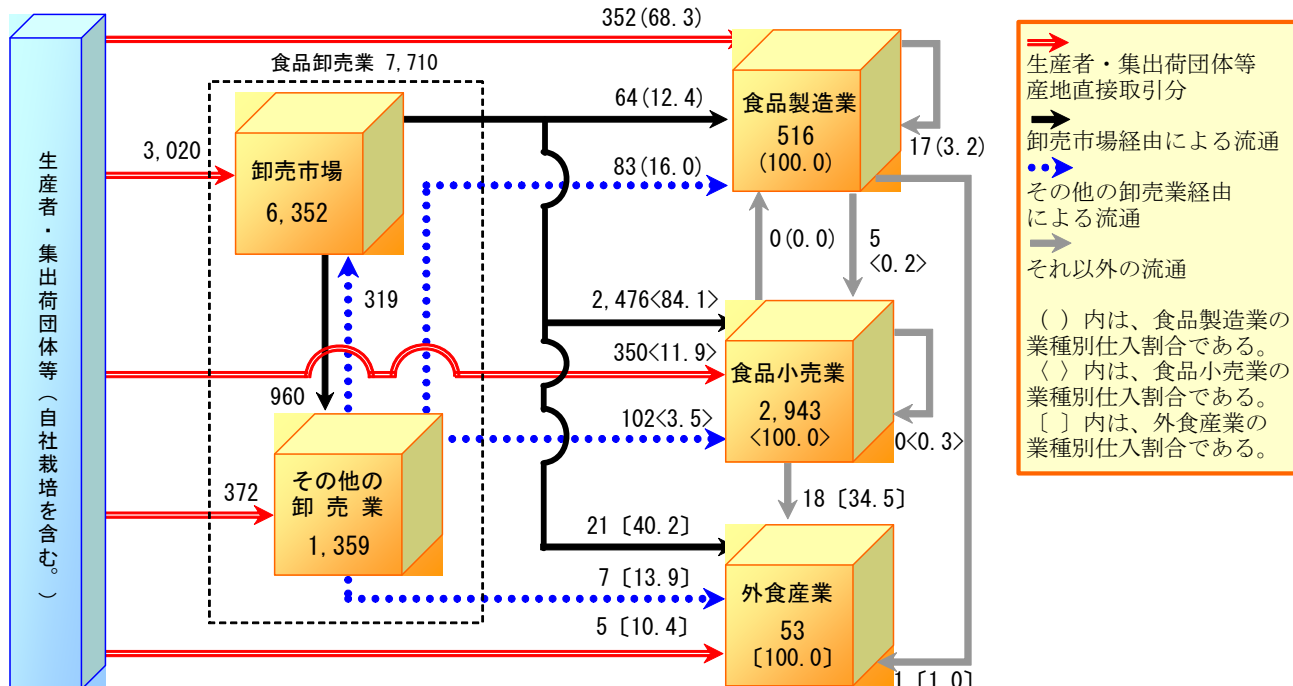
食品産業における国内産生鮮果実の仕入量は、食品卸売業（卸売市場及びその他の卸売業）が771万t、食品製造業が51万6千t、食品小売業が294万3千t、外食産業が5万3千tであった。

仕入先別仕入量割合をみると、食品製造業では生産者・集出荷団体等からの仕入割合が68.3%と最も高くなっており、食品小売業及び外食産業では卸売市場からの仕入れが84.1%、40.2%とそれぞれ最も高くなっている。

図3 国内産生鮮果実の主な流通経路別仕入量

〔生産者・集出荷団体等：4,100〕

単位：千t（%）



注：1 ■内の数値は、卸売市場、その他の卸売業、食品製造業、食品小売業及び外食産業における同業種間の流通を含む延べ仕入量であり、自社栽培したものを含む。また、括弧内は仕入量（延べ仕入量）に対する割合である。

2 卸売市場の数値は、卸売市場内の卸売業者及び仲卸業者が仕入れた延べ仕入量である。

3 業種別の仕入先・規模を調査・推定したものであること及び食品卸売業には、製造（加工）を行う事業所、消費者へ直接販売する事業所等が含まれていることから、食品卸売業の仕入量と他の業種が食品卸売業から仕入れた量の合計とは一致しない。

4 この結果には直接消費者へ流通するもの等は含んでいない。

3 業種別の仕入状況

(1) 食品製造業における仕入状況

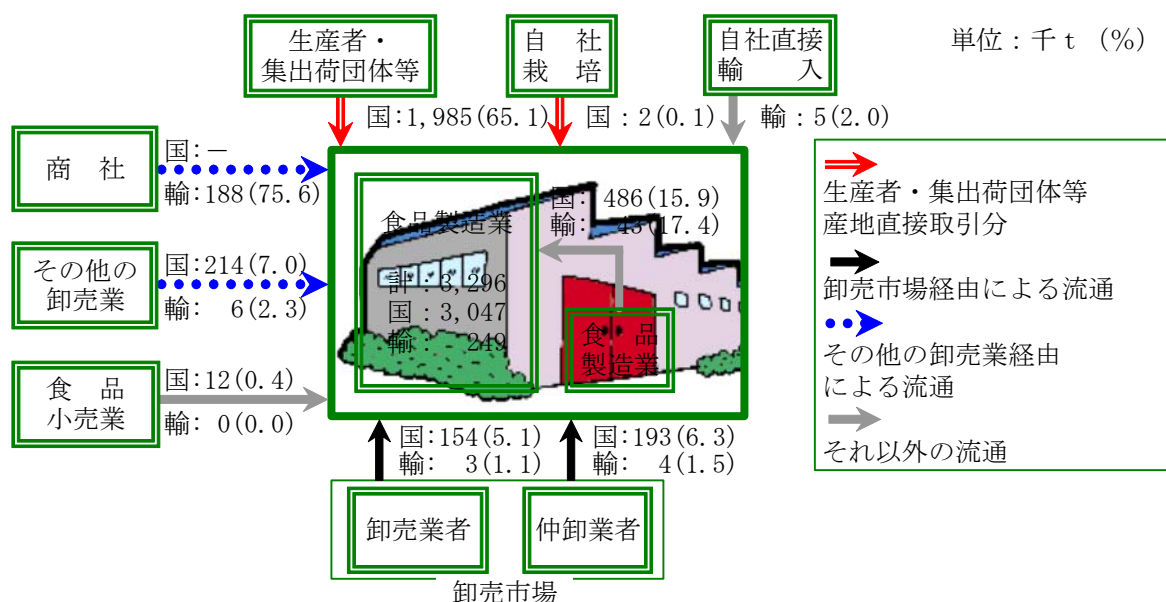
ア 生鮮野菜

(ア) 食品製造業における生鮮野菜の仕入量は329万6千tで、国内産が304万7千t、輸入が24万9千tとなっている。

仕入先別仕入量割合をみると、国内産では生産者・集出荷団体等からの仕入れが仕入量全体の65.1%と最も高くなっている。

一方、輸入については、商社からの仕入れが仕入量全体の75.6%と最も高くなっている。

図4 食品製造業における生鮮野菜（国内産及び輸入）の仕入先別仕入量割合



注：1 () 内は、食品製造業の国内産・輸入別仕入量(延べ仕入量)に対する割合である。
 2 「国」は国内産、「輸」は輸入のことである。
 3 その他の卸売業の国内産については、商社分を含む。

(イ) 食品製造業における業種(業種小分類)別の仕入先別仕入量割合をみると、国内産生鮮野菜では、仕入量全体の28.7%を占める冷凍調理食品製造業において、生産者・集出荷団体等からの仕入れが44.3%と最も高く、次いで食品製造業からの仕入れが32.0%となっている。

輸入生鮮野菜では、仕入量全体の72.3%を占める冷凍調理食品製造業において、商社からの仕入れが98.0%と最も高くなっている。(P36, 38参照)

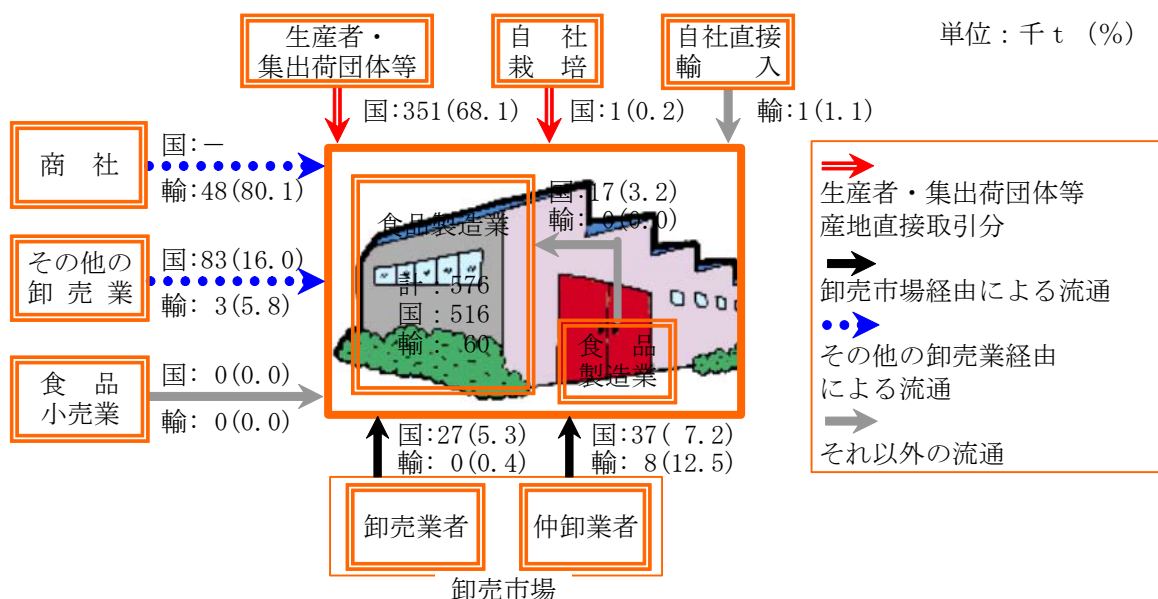
イ 生鮮果実

(ア) 食品製造業における生鮮果実の仕入量は57万6千tで、国内産が51万6千t、輸入が6万tとなっている。

仕入先別仕入量割合をみると、国内産では生産者・集出荷団体等からの仕入れが仕入量全体の68.1%と最も高くなっている。

一方、輸入についてみると、商社からの仕入れが仕入量全体の80.1%と最も高くなっている。

図5 食品製造業における生鮮果実（国内産及び輸入）の仕入先別仕入量割合



注：1 () 内は、食品製造業の国内産・輸入別仕入量(延べ仕入量)に対する割合である。
2 「国」は国内産、「輸」は輸入のことである。
3 その他の卸売業の国内産については、商社分を含む。

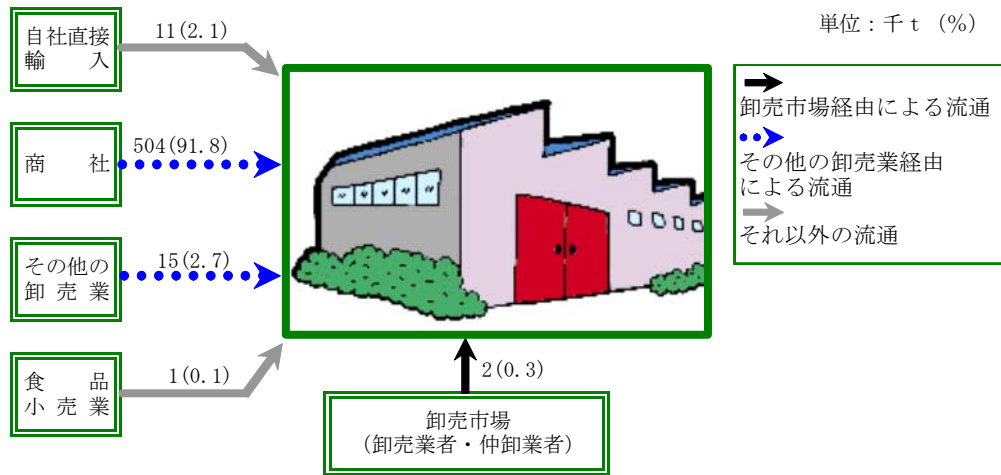
(イ) 食品製造業における業種(業種小分類)別の仕入先別仕入量割合をみると、国内産生鮮果実では、仕入量全体の42.2%を占める野菜果実缶詰・農産保存食料品製造業において、生産者・集出荷団体等からの仕入れが62.6%と最も高く、次いで商社及びその他の卸売業からの仕入れが37.4%となっている。(P42参照)

ウ 輸入一次加工原料野菜

食品製造業における輸入一次加工原料野菜の仕入量は54万9千tで、商社からの仕入れが仕入量全体の91.8%と最も高くなっている。

この仕入量を業種(業種小分類)別にみると、仕入量全体の8.2%を占める野菜果実缶詰・農産保存食料品製造業では、商社からの仕入れが78.2%と最も高くなっている。(P40参照)

図6 食品製造業における輸入一次加工原料野菜の仕入先別仕入量割合



(2) 食品小売業における仕入状況

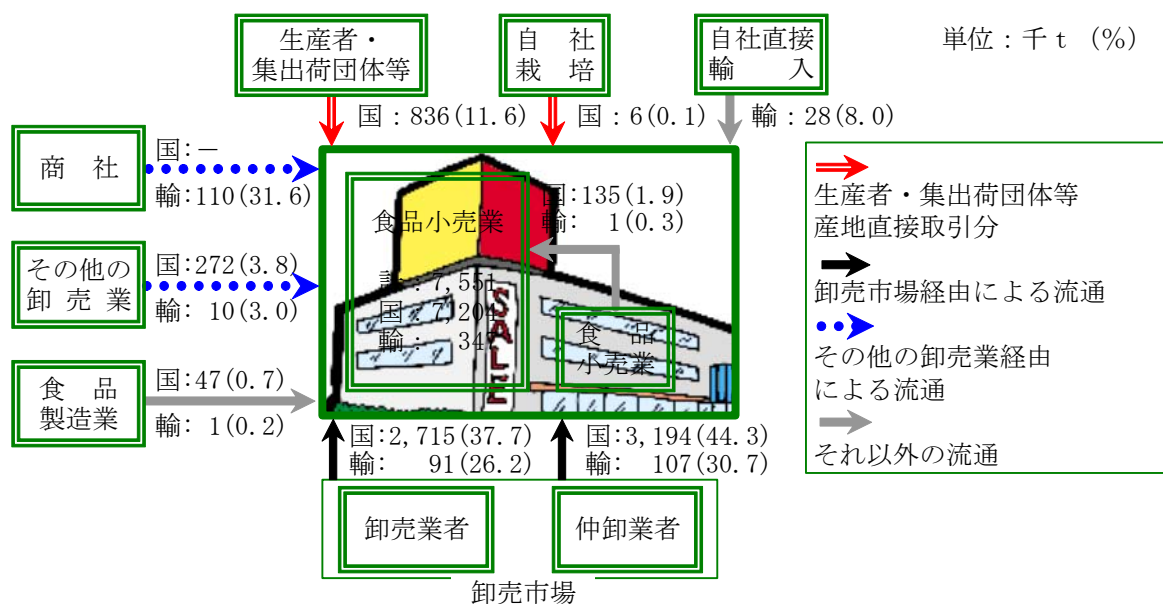
ア 生鮮野菜

(ア) 食品小売業における生鮮野菜の仕入量は755万1千tで、国内産が720万4千t、輸入が34万7千tとなっている。

仕入先別仕入量割合をみると、国内産は卸売市場の仲卸業者からの仕入れが仕入量全体の44.3%と最も高く、次いで卸売市場の卸売業者からの仕入れが37.7%となっている。

一方、輸入についてみると、商社からの仕入れが仕入量全体の31.6%と最も高く、次いで卸売市場の仲卸業者からの仕入れが30.7%となっている。

図7 食品小売業における生鮮野菜（国内産及び輸入）の仕入先別仕入量割合



(イ) 食品小売業における業種(業種小分類)別の仕入先別仕入量割合をみると、国内産生鮮野菜では、仕入量全体の55.5%を占める各種食料品小売業において、卸売市場の仲卸業者からの仕入れが42.8%と最も高く、次いで卸売市場の卸売業者からの仕入れが40.5%となっている。

輸入生鮮野菜では、仕入量全体の47.5%を占める各種食料品小売業において、商社からの仕入れが32.7%と最も高く、次いで卸売市場の仲卸業者からの仕入れが31.4%となっている。(P36, 38参照)

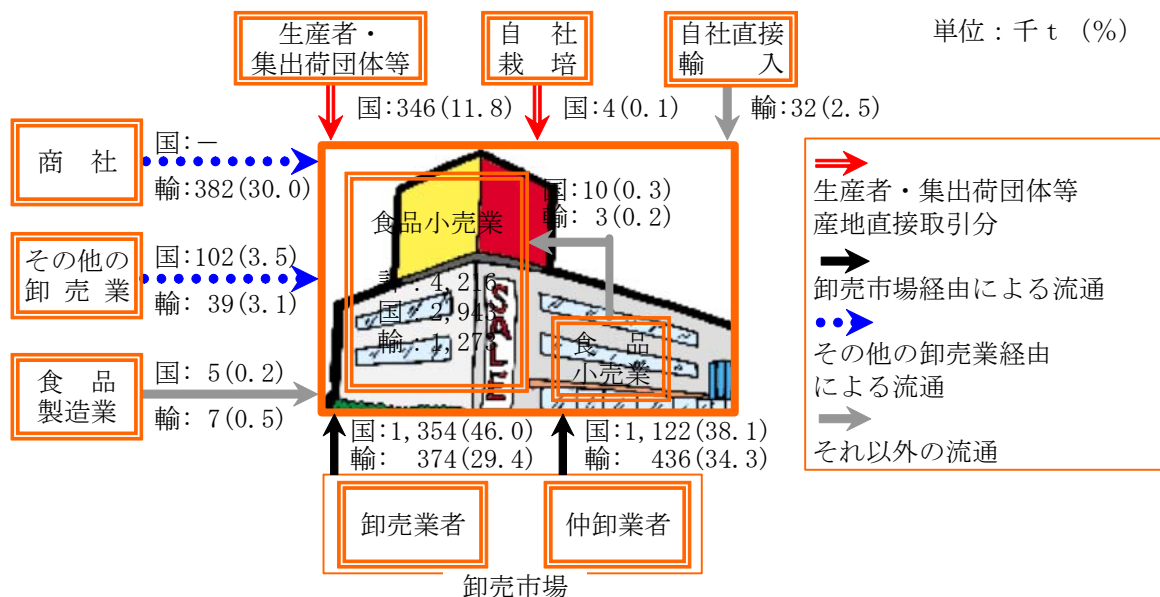
イ 生鮮果実

(ア) 食品小売業における生鮮果実の仕入量は421万6千tで、国内産が294万3千t、輸入が127万3千tとなっている。

仕入先別仕入量割合をみると、国内産では卸売市場の卸売業者からの仕入れが仕入量全体の46.0%と最も高く、次いで卸売市場の仲卸業者からの仕入れが38.1%となっている。

一方、輸入についてみると、卸売市場の仲卸業者からの仕入れが仕入量全体の34.3%と最も高く、次いで商社からの仕入れが30.0%となっている。

図8 食品小売業における生鮮果実(国内産及び輸入)の仕入先別仕入量割合



注：1 ()内は、食品小売業の国内産・輸入別仕入量(延べ仕入量)に対する割合である。
 2 「国」は国内産、「輸」は輸入のことである。
 3 その他の卸売業の国内産については、商社分を含む。

(イ) 食品小売業における業種(業種小分類)別の仕入先別仕入量割合をみると、国内産生鮮果実では、仕入量全体の59.3%を占める各種食料品小売業において、卸売市場の卸売業者からの仕入れが54.9%と最も高く、次いで卸売市場の仲卸業者からの仕入れが32.3%となっている。

輸入生鮮果実では、仕入量全体の55.7%を占める各種食料品小売業において、卸売市場の卸売業者、仲卸業者、商社からの仕入れがそれぞれ31.4%、31.2%、31.0%と高くなっている。(P42, 44参照)

(3) 外食産業における仕入状況

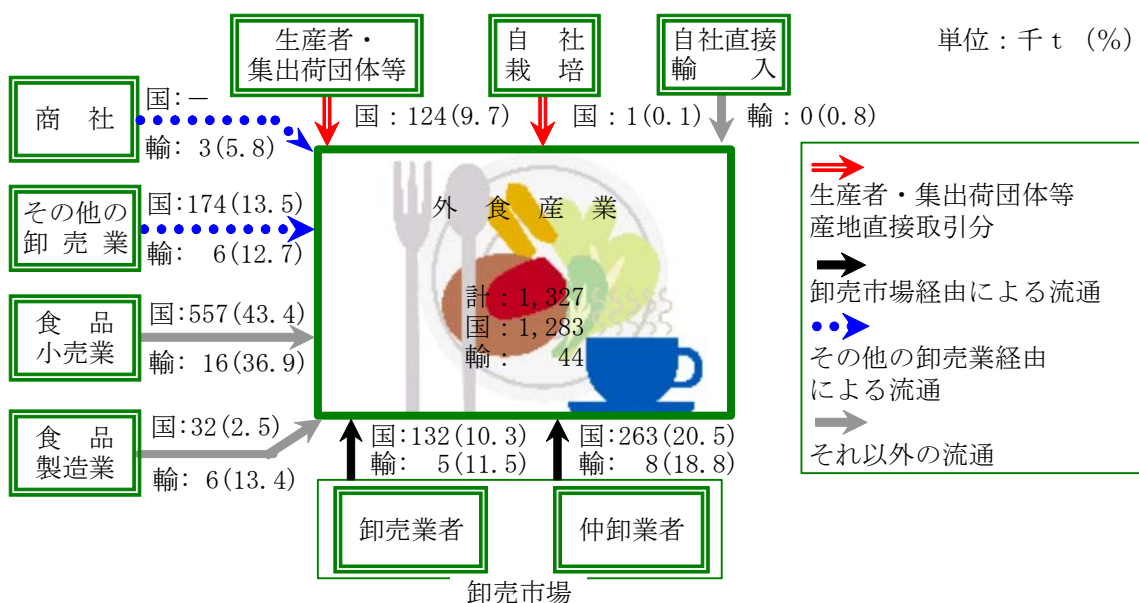
ア 生鮮野菜

(ア) 外食産業における生鮮野菜の仕入量は132万7千tで、国内産が128万3千t、輸入が4万4千tとなっている。

仕入先別仕入量割合をみると、国内産では食品小売業からの仕入れが仕入量全体の43.4%と最も高くなっている。

一方、輸入についてみると、食品小売業からの仕入れが仕入量全体の36.9%と最も高くなっている。

図9 外食産業における生鮮野菜(国内産及び輸入)の仕入先別仕入量割合



注：1 ()内は、外食産業の国内産・輸入別仕入量(延べ仕入量)に対する割合である。
 2 「国」は国内産、「輸」は輸入のことである。
 3 その他の卸売業の国内産については、商社分を含む。

(イ) 外食産業における業種(業種小分類)別の仕入先別仕入量割合をみると、国内産生鮮野菜では、仕入量全体の30.0%を占める一般食堂において、食品小売業からの仕入れが42.1%と最も高くなっている。

輸入生鮮野菜では、国内産と同様に、仕入量全体の37.6%を占める一般食堂において、食品小売業からの仕入れが28.1%と最も高くなっている。(P36, 38参照)

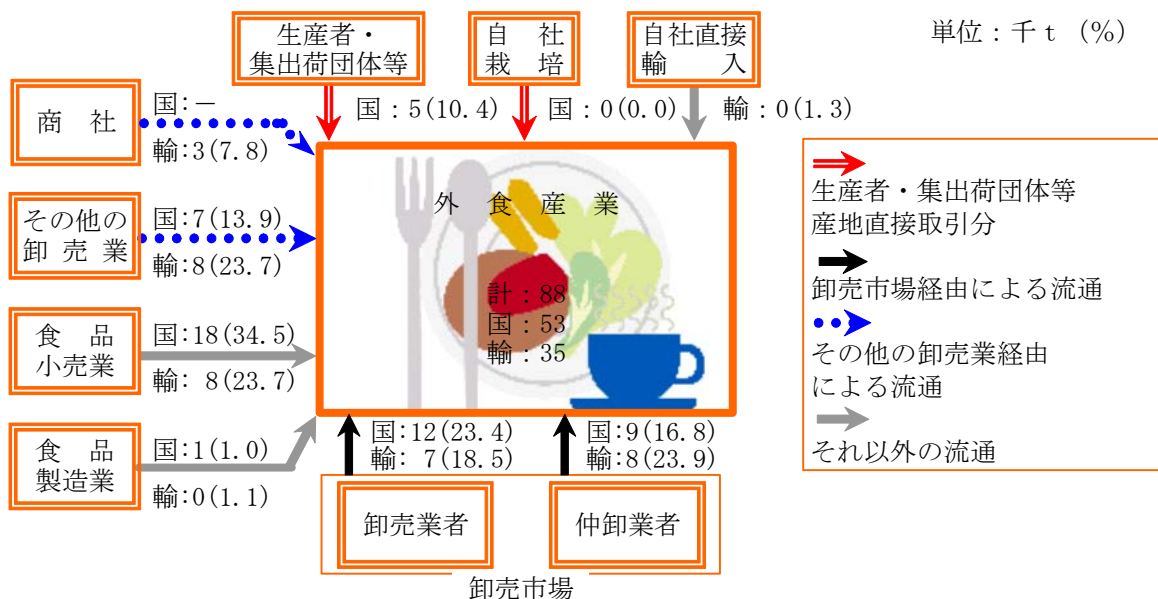
イ 生鮮果実

(ア) 外食産業における生鮮果実の仕入量は8万8千tで、国内産が5万3千t、輸入が3万5千tとなっている。

仕入先別仕入量割合をみると、国内産は食品小売業からの仕入れが仕入量全体の34.5%と最も高くなっている。

一方、輸入についてみると、卸売市場の仲卸業者からの仕入れが仕入量全体の23.9%、その他の卸売業、食品小売業からの仕入れがそれぞれ仕入量全体の23.7%と高くなっている。

図10 外食産業における生鮮果実（国内産及び輸入）の仕入先別仕入量割合



(イ) 外食産業における業種(業種小分類)別の仕入先別仕入量割合をみると、国内産生鮮果実では、仕入量全体の29.2%を占める一般食堂において、食品小売業からの仕入れが41.2%と最も高くなっている。

輸入生鮮果実では、仕入量全体の47.0%を占める一般食堂において、その他の卸売業からの仕入れが45.7%と最も高くなっている。(P42, 44参照)

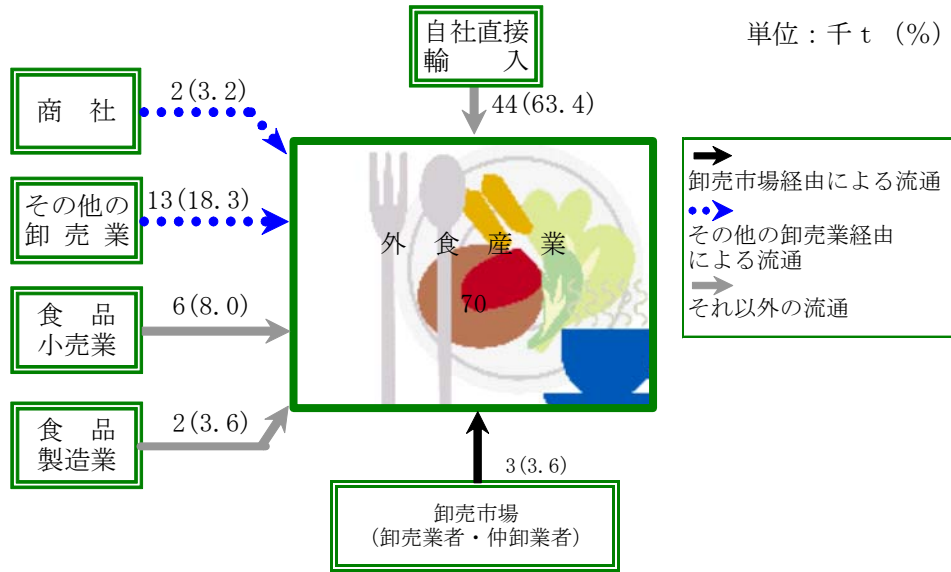
ウ 輸入一次加工原料野菜

外食産業における輸入一次加工原料野菜の仕入量は7万tで、自社直接輸入による仕入れが仕入量全体の63.4%と最も高くなっている。

この仕入量を業種(業種小分類)別にみると、仕入量全体の20.2%を占める一般食堂において、その他の卸売業からの仕入れが64.7%と最も高くなっている。

(P40参照)

図11 外食産業における輸入一次加工原料野菜の仕入先別仕入量割合



注：（ ）内は、外食産業の仕入量(延べ仕入量)に対する割合である。

(4) 食品卸売業における仕入状況

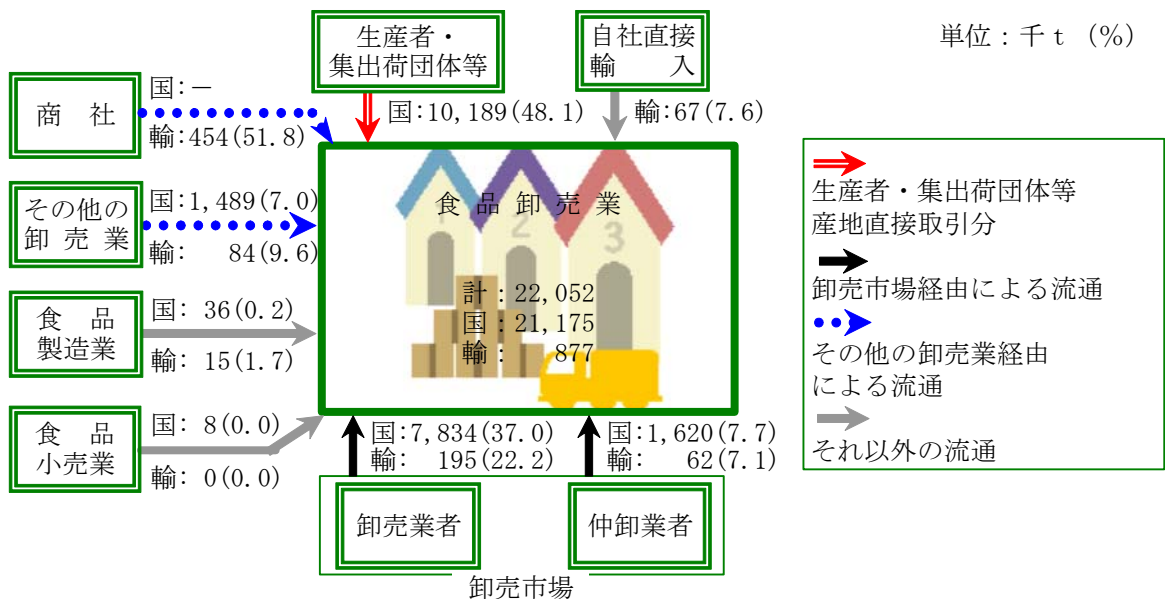
ア 生鮮野菜

(ア) 食品卸売業における生鮮野菜の仕入量は2,205万2千 t で、国内産が2,117万5千 t、輸入が87万7千 t となっている。

仕入先別仕入量割合をみると、国内産では生産者・集出荷団体等からの仕入れが仕入量全体の48.1%と最も高く、次いで卸売市場の卸売業者からの仕入れが37.0%となっている。

一方、輸入についてみると、商社からの仕入れが仕入量全体の51.8%と最も高くなっている。

図12 食品卸売業における生鮮野菜（国内産及び輸入）の仕入先別仕入量割合



注：1 ()内は、食品卸売業の国内産・輸入別仕入量(延べ仕入量)に対する割合である。

2 「国」は国内産、「輸」は輸入のことである。

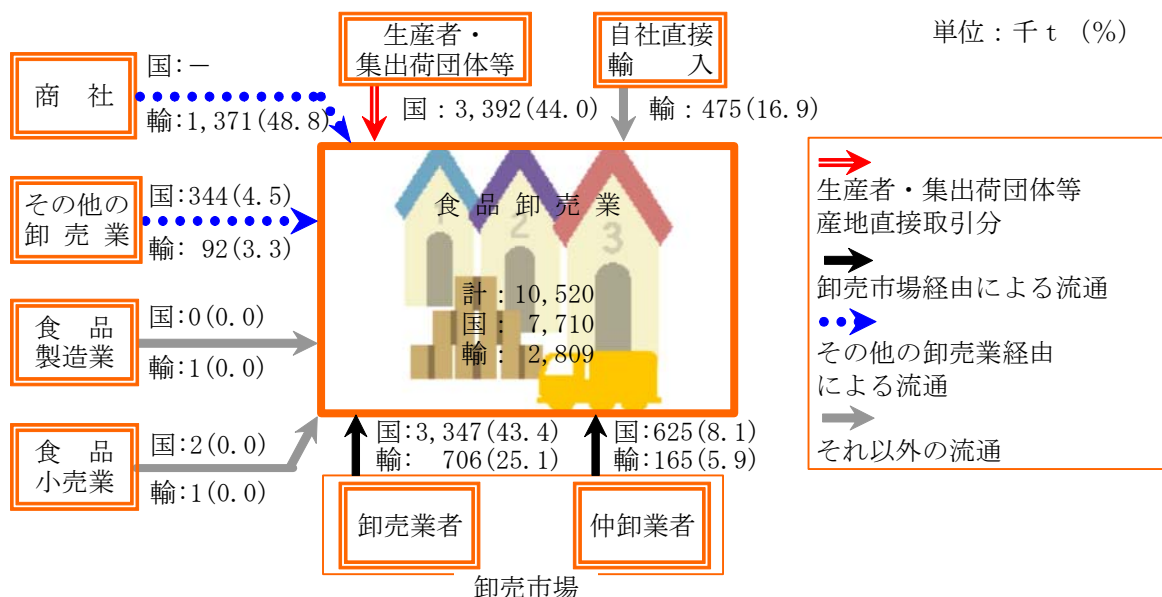
3 その他の卸売業の国内産については、商社分を含む。

- (イ) 食品卸売業における業種(業種小分類)別の仕入先別仕入量割合をみると、国内産生鮮野菜では、仕入量全体の54.7%を占める卸売市場の卸売業者において、生産者・集出荷団体等からの仕入れが73.4%と最も高くなっている。
- 輸入生鮮野菜では、仕入量全体の48.2%を占める卸売市場の卸売業者において、商社からの仕入れが68.7%と最も高くなっている。(P36, 38参照)

イ 生鮮果実

- (ア) 食品卸売業における生鮮果実の仕入量は1,052万 t で、国内産が771万 t、輸入が280万 9 千 t となっている。
- 仕入先別仕入量割合をみると、国内産では生産者・集出荷団体等からの仕入れが仕入量全体の44.0%と最も高く、次いで卸売市場の卸売業者からの仕入れが43.4%となっている。
- 一方、輸入についてみると、商社からの仕入れが仕入量全体の48.8%と最も高くなっている。

図13 食品卸売業における生鮮果実(国内産及び輸入)の仕入先別仕入量割合



- 注：1 () 内は、食品卸売業の国内産・輸入別仕入量(延べ仕入量)に対する割合である。
 2 「国」は国内産、「輸」は輸入のことである。
 3 その他の卸売業の国内産については、商社分を含む。

- (イ) 食品卸売業における業種(業種小分類)別の仕入先別仕入量割合をみると、国内産生鮮果実では、仕入量全体の47.8%を占める卸売市場の卸売業者において、生産者・集出荷団体等からの仕入れが77.4%と最も高くなっている。
- 輸入生鮮果実では、仕入量全体の41.1%を占めるその他の卸売業において、自社直接輸入、商社からの仕入れがそれぞれ37.9%、37.7%と高くなっている。(P42, 44参照)

(5) 仕入先別の事業所数割合

ア 生鮮野菜

(ア) 国内産生鮮野菜の仕入先別事業所数割合をみると、食品製造業では生産者・集出荷団体等から仕入れている事業所が39.9%、食品卸売業では卸売市場の卸売業者から仕入れている事業所が69.8%、食品小売業では同55.1%、外食産業では食品小売業から仕入れている事業所が71.2%とそれぞれ最も高くなっている。

一方、輸入生鮮野菜については、食品製造業では卸売市場の仲卸業者から仕入れている事業所が26.5%、食品卸売業では卸売市場の卸売業者から仕入れている事業所が66.3%、食品小売業では同53.6%、外食産業では食品小売業から仕入れている事業所が64.4%とそれぞれ最も高くなっている。

表4 生鮮野菜の仕入先別事業所数割合

単位:%

業種	生産者・集出荷団体等	自社直接輸入	食品卸売業				食品製造業	食品小売業	自社栽培
			卸売市場		商社	その他卸売業			
			卸売業者	仲卸業者					
国内産生鮮野菜									
食品製造業	39.9	-	23.8	29.4	-	16.5	19.9	21.4	0.6
食品卸売業	35.1	-	69.8	47.1	-	14.5	4.5	2.5	-
食品小売業	28.5	-	55.1	54.3	-	9.8	3.9	4.4	0.2
外食産業	24.0	-	10.9	19.6	-	7.6	4.6	71.2	0.3
輸入生鮮野菜									
食品製造業	-	0.5	15.8	26.5	22.9	19.2	22.4	8.8	-
食品卸売業	-	2.3	66.3	39.2	16.4	9.2	3.5	1.8	-
食品小売業	-	2.5	53.6	51.7	8.8	4.6	1.3	2.7	-
外食産業	-	3.2	11.1	19.1	3.0	9.3	4.4	64.4	-

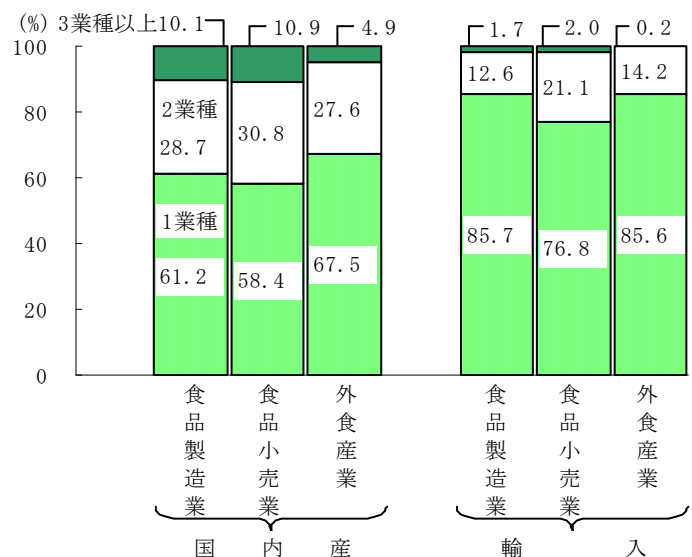
注：1 仕入先が複数ある事業所があるため、仕入先別事業所数割合の計は100%にならない(以下の表5, 6においても同じ)。
2 その他卸売業の国内産生鮮野菜については、商社分を含む。

(イ) 生鮮野菜の仕入業種数別

仕入事業所数割合をみると、国内産では全ての業種において、1業種から仕入れている事業所数割合が最も高くなっている。

また、輸入においても、1業種から仕入れている事業所数割合が最も高く、全体の約8割から9割を占めている。

図14 生鮮野菜の仕入業種数別仕入事業所数割合



イ 生鮮果実

(ア) 国内産生鮮果実の仕入先別事業所数割合をみると、食品製造業では生産者・集出荷団体等から仕入れている事業所が48.3%、食品卸売業では卸売市場の卸売業者から仕入れている事業所が70.6%、食品小売業では同53.6%、外食産業では食品小売業から仕入れている事業所が63.4%とそれぞれ最も高くなっている。

一方、輸入生鮮果実については、食品製造業では卸売市場の仲卸業者から仕入れている事業所が48.5%、食品卸売業では卸売市場の卸売業者から仕入れている事業所が66.9%、食品小売業では卸売市場の仲卸業者から仕入れている事業所が51.1%、外食産業では食品小売業から仕入れている事業所が58.8%とそれぞれ最も高くなっている。

表5 生鮮果実の仕入先別事業所数割合

単位：%

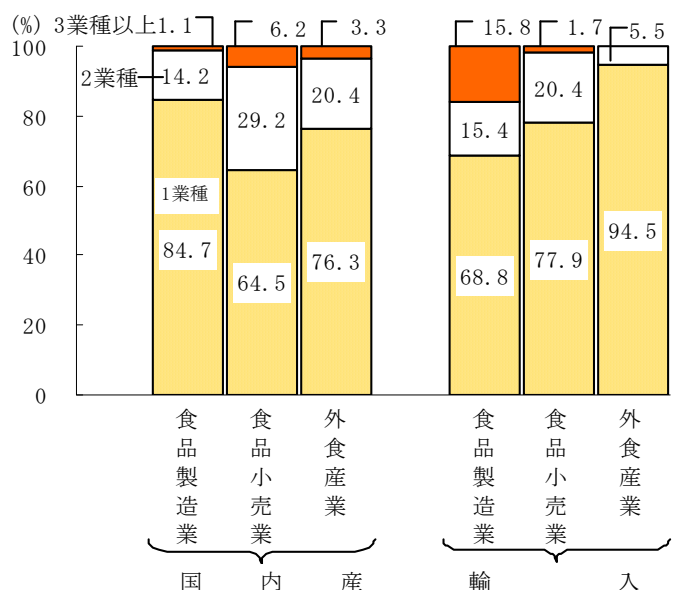
業種	生産者・集出荷団体等	自社直接輸入	食品卸売業				食品製造業	食品小売業	自社栽培
			卸売市場		商社	その他卸売業			
			卸売業者	仲卸業者					
国内産生鮮果実									
食品製造業	48.3	-	15.9	17.4	-	14.3	7.2	12.5	2.5
食品卸売業	32.5	-	70.6	45.3	-	12.6	0.8	1.9	-
食品小売業	23.5	-	53.6	52.2	-	8.5	0.8	3.3	0.5
外食産業	20.0	-	12.9	19.2	-	6.5	4.8	63.4	0.3
輸入生鮮果実									
食品製造業	-	2.6	22.4	48.5	22.3	30.2	6.4	14.5	-
食品卸売業	-	1.3	66.9	39.1	15.5	7.5	1.5	2.8	-
食品小売業	-	2.8	49.6	51.1	10.2	6.2	0.8	3.2	-
外食産業	-	0.5	9.7	22.6	3.1	6.4	4.3	58.8	-

注：その他卸売業の国内産生鮮果実については、商社分を含む。

(イ) 生鮮果実の仕入業種数別仕入事業所数割合をみると、国内産では全ての業種において1業種から仕入れている事業所数割合が最も高くなっているものの、食品小売業において複数業種(2業種及び3業種以上)から仕入れている事業所数割合がやや高くなっている。

また、輸入では1業種から仕入れている事業所数割合が最も高く、全体の約7割から9割を占めている。

図15 生鮮果実の仕入業種数別仕入事業所数割合



ウ 輸入一次加工原料野菜

(ア) 輸入一次加工原料野菜の仕入先別事業所数割合をみると、食品製造業では商社から仕入れている事業所が54.6%、外食産業では食品小売業から仕入れている事業所が46.6%とそれぞれ最も高くなっている。

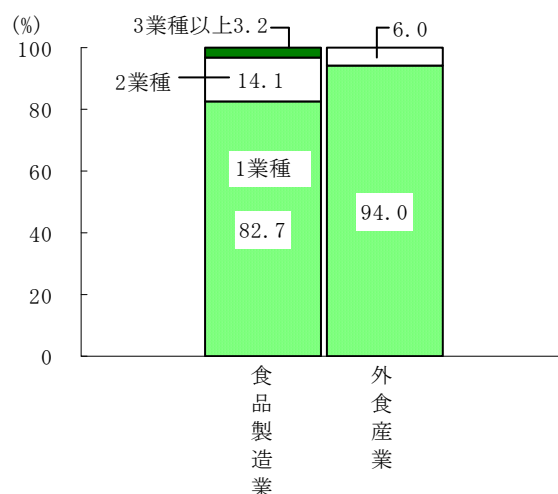
表6 輸入一次加工原料野菜の仕入先別事業所数割合

単位:%

業種	自社 直接輸入	食品卸売業			食品 製造業	食品 小売業
		卸売市場 (卸売業者・ 仲卸業者)	商社	その他 卸売業		
食品製造業	3.2	13.3	54.6	28.9	16.8	3.6
外食産業	2.8	13.7	9.4	27.9	5.5	46.6

図16 輸入一次加工原料野菜の仕入業種数別仕入事業所数割合

(イ) 輸入一次加工原料野菜の仕入業種数別仕入事業所数割合をみると、食品製造業及び外食産業ともに1業種から仕入れた事業所数割合が最も高く、それぞれ全体の約8割から9割を占めている。



4 品目別の仕入状況

(1) 国内産生鮮野菜主要品目別の流通経路

ア だいこん

仕入先別仕入量割合をみると、食品小売業においては卸売市場の仲卸業者からの仕入割合が47.7%と最も高く、次いで、卸売市場の卸売業者からの仕入れが40.3%となっている。

一方、食品製造業においては生産者・集出荷団体等からの仕入割合が66.1%と最も高くなっている。

イ キャベツ

仕入先別仕入量割合をみると、食品小売業においては卸売市場の仲卸業者からの仕入割合が45.9%と最も高く、次いで、卸売市場の卸売業者からの仕入れが40.4%となっている。

一方、食品製造業においては生産者・集出荷団体等からの仕入割合が41.8%と最も高く、次いで商社及びその他卸売業からの仕入れが22.9%となっている。

ウ きゅうり

仕入先別仕入量割合をみると、食品小売業においては卸売市場の仲卸業者からの仕入割合が46.6%と最も高く、次いで、卸売市場の卸売業者からの仕入れが36.6%となっている。

一方、食品製造業においては卸売市場の卸売業者からの仕入割合が42.5%と最も高く、次いで、卸売市場の仲卸業者からの仕入れが27.8%となっている。

エ ばれいしょ

仕入先別仕入量割合をみると、食品小売業においては卸売市場の仲卸業者からの仕入割合が43.0%と最も高く、次いで、卸売市場の卸売業者からの仕入れが39.3%となっている。

一方、食品製造業においては生産者・集出荷団体等からの仕入割合が69.0%と最も高くなっている。

オ たまねぎ

仕入先別仕入量割合をみると、食品小売業においては卸売市場の仲卸業者からの仕入割合が44.4%と最も高く、次いで、卸売市場の卸売業者からの仕入れが39.0%となっている。

一方、食品製造業においては食品製造業からの仕入割合が75.6%と最も高くなっている。

表7 国内産生鮮野菜の仕入先別仕入量割合

単位:%

品目	計	生産者・ 集出荷 団体等	食品卸売業			食品製造業	食品小売業	自社栽培
			卸売市場		商社及び その他 卸売業			
			卸売業	仲卸業				
だいこん								
食品製造業	100.0	66.1	11.1	8.1	4.8	5.6	2.0	2.2
食品小売業	100.0	8.4	40.3	47.7	3.0	0.2	0.4	0.0
外食産業	100.0	11.7	17.4	21.2	6.1	3.5	40.1	0.1
キャベツ								
食品製造業	100.0	41.8	6.3	17.8	22.9	11.1	0.2	-
食品小売業	100.0	10.9	40.4	45.9	1.8	0.3	0.4	0.3
外食産業	100.0	4.1	6.5	22.3	19.1	2.3	45.7	0.1
きゅうり								
食品製造業	100.0	12.5	42.5	27.8	12.3	4.5	0.4	0.1
食品小売業	100.0	14.0	36.6	46.6	2.2	0.1	0.4	0.0
外食産業	100.0	16.4	13.2	20.9	7.9	1.9	39.7	0.1
ばれいしょ								
食品製造業	100.0	69.0	4.1	7.2	6.5	13.1	0.0	-
食品小売業	100.0	11.2	39.3	43.0	5.1	0.7	0.6	0.1
外食産業	100.0	12.6	6.2	25.4	8.8	1.1	45.9	0.0
たまねぎ								
食品製造業	100.0	10.9	1.9	5.4	5.7	75.6	0.4	-
食品小売業	100.0	10.2	39.0	44.4	5.7	0.3	0.4	0.0
外食産業	100.0	5.9	10.2	25.0	13.4	2.0	43.3	0.2

(2) 国内産生鮮果実主要品目別の流通経路

ア みかん

仕入先別仕入量割合をみると、食品小売業においては卸売市場の仲卸業者からの仕入割合が43.6%と最も高く、次いで、卸売市場の卸売業者からの仕入れが38.5%となっている。

一方、食品製造業においては生産者・集出荷団体等からの仕入割合が94.8%と最も高くなっている。

イ りんご

仕入先別仕入量割合をみると、食品小売業においては卸売市場の仲卸業者からの仕入割合が42.0%と最も高く、次いで、卸売市場の卸売業者からの仕入れが36.3%となっている。

一方、食品製造業においては生産者・集出荷団体等からの仕入割合が57.9%と最も高く、次いで、商社及びその他卸売業からの仕入れが24.1%となっている。

ウ ぶどう

仕入先別仕入量割合をみると、食品小売業においては卸売市場の卸売業者からの仕入割合が47.6%と最も高く、次いで、卸売市場の仲卸業者からの仕入れが37.3%となっている。

一方、食品製造業においては生産者・集出荷団体等からの仕入割合が82.5%と最も高くなっている。

エ うめ

仕入先別仕入量割合をみると、食品小売業においては卸売市場の卸売業者からの仕入割合が65.7%と最も高く、次いで、卸売市場の仲卸業者からの仕入れが25.3%となっている。

一方、食品製造業においては生産者・集出荷団体等からの仕入割合が92.4%と最も高くなっている。

表 8 国内産生鮮果実の仕入先別仕入量割合

品 目	計	生産者・ 集出荷 団体等	食品卸売業			食品製造業	食品小売業	自社栽培
			卸売市場		商社及び その他 卸売業			
			卸売業	仲卸業				
み か ん								
食品製造業	100.0	94.8	0.2	0.6	0.4	4.0	0.0	-
食品小売業	100.0	12.0	38.5	43.6	5.2	0.2	0.6	0.0
外食産業	100.0	16.3	17.3	13.5	6.6	0.9	45.5	-
り ん ご								
食品製造業	100.0	57.9	11.5	1.1	24.1	5.3	0.0	-
食品小売業	100.0	16.3	36.3	42.0	4.7	0.2	0.2	0.3
外食産業	100.0	4.3	16.2	15.0	35.4	1.2	28.0	-
ぶ ど う								
食品製造業	100.0	82.5	1.6	1.7	14.0	-	0.0	0.2
食品小売業	100.0	11.5	47.6	37.3	2.7	0.1	0.3	0.5
外食産業	100.0	10.5	17.0	27.7	3.8	1.3	39.7	-
う め								
食品製造業	100.0	92.4	0.8	5.2	0.1	-	0.0	1.5
食品小売業	100.0	7.7	65.7	25.3	0.7	0.4	0.2	-
外食産業	100.0	34.9	11.4	4.2	0.4	4.4	44.8	-